

～2022年度 たすき掛け研修医よりごあいさつ～



研修センター通信

Vol. 133

令和4年10月25日

発行: 教育研修センター

病院見学も
受入中!

1年次 加藤 真理子

はじめまして、研修医1年目の加藤真理子と申します。東京都出身で東京医科歯科大学を卒業し、藤枝市立総合病院にて研修をさせていただくこととなりました。東大病院のたすき掛けプログラムのため1年間と短い期間ではありますが、精一杯取り組ませていただきます。

小・中学校では吹奏楽部に所属しホルンを演奏していました。高校では運動量を増やすために軟式テニス部に所属しました。トレーニングの一環で皇居までラン(皇居ランではなく、学校と皇居を往復するラン)をしたことがあります。高校時代の部活動を通してラケットスポーツが好きになり、大学では卓球部に所属しました。戦型はシェークハンド裏裏です。藤枝でもぜひラケットスポーツで体を動かしたいと思います。

この1年間は診療へ本格的に携わる初めての期間となります。医療チームに積極的に関わること、常に学ぶ姿勢を持つことの2点を目標とし、前向きに頑張っております。ご迷惑をおかけする事もあると思いますが、みなさまにご指導いただきながら一歩ずつ成長していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほどどうぞお願いいたします。

2022.4.1から仲間入り!
1年次研修医
研修期間～2023.3.31(1年間)



▲写真一番左

東大
たすき

1年次 荻原 和樹

初めまして。4月よりお世話になっております、研修医一年目の荻原和樹と申します。出身地は山梨県、出身大学は山梨大学です。山梨大学のたすき掛けプログラムにて、1年間研修させていただきます。

大学時代は硬式テニス部に所属しておりました。また、高校時代は山岳部に所属していたため、静岡の山も登れたらと考えております。趣味はサッカー観戦で、今年はワールドカップもあるので好きな方いましたら一緒に観戦できたらと思います。

働き始めてから2週間が経過しましたが、まだまだ分からないことだらけで自分の無力さを日々痛感しております。一方で、二年目の先輩や上級医の先生、看護師さんに助けていただきながら、少しずつですが成長も実感しており、充実した毎日を送っております。この一年間でできることを一つずつ丁寧に増やし、成長して山梨に帰ることができたらと考えております。

さて、写真は私と私の双子の弟の卒業式の際の写真です。院内で見かけた際はどちらが私か当てていただけるととても喜びます。私も先生方や看護師さんの方々など顔を徐々に覚えていけたらと思います。一年間よろしくお願いたします。



山梨大
たすき

▲どちらでしょう▲



2021.10.1から
2022.9.30まで
1年間お世話に
なりました!

浜医大
たすき

▲写真1列目中央

「藤枝での研修を振り返って」 2年次 杉本 祥拓

私は、昨年の10月から、今年の9月まで、藤枝市立総合病院にて研修をさせていただきました。10月からは浜松医科大学にて研修をしております。藤枝市立総合病院では、救急科や消化器内科、呼吸器内科等にて多くの症例を経験させていただきました。多くのcommon diseaseに触れることで、大学病院では経験することのできない、第一線での地域医療を学ぶことができました。

指導医の先生方には大変親身にご指導いただき、自分自身も将来後輩に同じような指導ができるようになりたいと思っておりました。また、コメディカルの方々もとても優しく、日常業務や検査手技に関してご指導をいただき、大変勉強になりました。

先日、浜松医科大学の消化器内科に入局させていただきました。当院で学んだことを糧に、消化器内科医として成長できるように励みます。

今後、医局人事などで藤枝市立総合病院に異動になった際には、精一杯志太地区の地域医療に貢献したいと考えております。短い間でしたが、ありがとうございました。